



いまり 特別支援学校だより

「第43回体育祭」に向けて、各学部がんばりました！！

★ 全体 ★【第43回 体育祭】 体育祭総務 大坪正樹

例年なら「赤組いくぞ〜！」「白組いくぞー！」と、大きな声援。小中高みんなで取り組み、上級生を見て来年は…と憧れ、「がんばれ！」「もうちょっと！」と上級生が励ます体育祭…というように、元気いっぱいの声が響き渡る体育祭ですが、コロナ禍ということもあり、練習からしっかりと感染症対策を行いながら、学部別で実施し、さらに赤白に分かれて、人数を制限しながらの練習となりました。

また、残念ながら天気にも恵まれず、子どもたちも悔しい思いをしたと思います。ですが、それぞれの学部の様子を見ると、感染症対策を行いながらも笑顔いっぱいで競技に取り組み、学校全体で盛り上げようと掲示物の制作に一生懸命取り組むなど、それぞれの立場で役割をしっかりと果たしてくれたと思います。来年こそは…！

【小学部】

★「たいいくさいだ いくぞ、オー！」

小学部では、今年度「たいいくさいだ いくぞ、オー！」をテーマに掲げ、4週間毎日繰り返し体育祭に取り組んできました。4週間の単位を通して学級で制作した「電車」「動物」「万国旗」などが学部棟に徐々に増えていき体育祭を盛り上げていました。

学部競技は、徒競走「でんしゃでゴー！」を行い、走って行った先にある切符を取り、箱に入れてゴールに向かって思い切り走りました。毎日繰り返し取り組む中でどの子も自信をもって活動できるようになりました。ダンスは「どうぶつでんしゃがやってきた」を行い、うさぎ、さる、ねずみ、わにが乗る、電車になりきって楽しく体を動かすことができました。また、高学年の子ども達が中心になって司会や結果発表などの役割を担い、活動を進めてくれました。

（小学部 T1 溝口）

【中学部】

今年の体育祭は2年ぶりの体育祭ということで、生徒たちも楽しみにしていましたが、練習段階より雨に泣かされ、本番当日も雨天中止という形になってしまいました。ですが、中学部では体育館と各教室をリモートでつなぎ、練習を重ねてきた新種目、「応用徒競走～吹き抜けろ、伊特の風～」を行い、勝敗を競いました。

本番ではなんと1秒差！！で、赤組が勝ちました。大接戦でとても盛り上がりしました。来年の体育祭は晴天時、グラウンドで思いっきりできたらいいですね！！中学部のみなさんお疲れ様でした。

（中学部 T1：瀬戸）

【高等部】

今年は天候等に左右された体育祭でしたが、1回1回の練習で思いっきり力を出し切り、達成感を味わうことができていたようでした。

学部種目として、徒競走と応援合戦を行いました。徒競走は、25m、50m、100mそれぞれの距離で一生涯懸命走り、ゴールテープを目指しました。スタート前には肢体不自由学級の生徒による聖火リレーが行われ、会場が大いに盛り上がりしました。

また、今年度の準備体操に使用した「Happiness」と、赤組の応援に使用した「紅蓮華」は昨年度の体育の授業で創ったダンスでした。みんなで振り付けを試行錯誤しながら完成したダンスであったこともあり、生徒たちは一生懸命練習に取り組んでいました。

（高等部 T1：坂井）

★障害者スポーツ大会、がんばりました！！★（高等部：美間坂）

【5/9陸上競技 5/16フライングディスク競技 5/30ボウリング競技】

3日間にわたり障害者スポーツ大会が行われました。昨年度は新型コロナウイルスの影響で中止になりましたが、今年は4月より練習を重ねて、参加することができました。全国大会の選考にもなっているため、生徒たちは練習の時から気合を入れて練習していました。大会当日も緊張している中、練習の成果を発揮し、みんな自己ベストや、自己ベストに近い記録を残してくれました。とても良い経験となり、生徒たちの表情は清々しかったです。終業式に記録賞の表彰を行います。10月の大会も楽しみです。

体育祭・スポーツ大会ともに、児童生徒への応援、本当にありがとうございました。



★子どもの笑顔は宝物★【特別支援教育の充実のために～地域の特別支援教育推進のセンター校として～】

本校では、佐賀県教育委員会による「障害のある子どもの学校生活支援事業」として、地域の幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校からの要請を受けて巡回相談を行っています。子ども達が安心して生活し、意欲的に活動できるようにお手伝いをさせていただいています。今年度も、コロナ禍の中、感染状況を見ながら訪問させていただいております。

また、地域の先生方の専門性向上のための研修会の開催や、障害の有無に関わらず、子どもの気になる様子や発達などに関する教育相談もお受けしています。

本校は、2名の特別支援教育コーディネーターを配置しています。子ども達のはじける笑顔のために、特別支援教育推進のセンター校としての役割をしっかりと担っていきたくと思っています。よろしくお願いします。

（特別支援教育コーディネーター：川原・田島）

【小学部】

★みんなで力を合わせ、笑顔いっぱい元気いっぱい！

今年度小学部には、知的障害学級1年生に6名、また、肢体不自由学級1年生に1名、合わせて7名の新生児が来てくれ、知的障害学級29名、肢体不自由学級5名、合計34名でスタートしました。

今年度も新型コロナウイルスの感染防止対策をとりながら、学部や学校行事、授業を進めています。新生児を迎える会では、あらかじめ新生児の写真を撮り、好きなことや得意なことを紹介する画像や小学部のみんなが登場するムービーを作り、当日はそれを見ながら楽しみました。

残念ながら、体育祭は保護者の皆さんに見て頂くことができませんでしたが、赤白に分かれ、毎日が学部体育祭という位置づけで頑張りました。5、6年生は、司会進行や競技の結果発表など、それぞれの役割を果たしてくれました。

今年度も教師や友達といろいろな経験を通して笑顔で学校生活を過ごしてほしいと思います。

（小学部主事：三原弘規）

【中学部】

★元気なあいさつ 明るい笑顔！

中学部は9名の新生児と1名の転入生を迎えて、29名で新年度をスタートしました。元気で明るい笑顔がキラキラしています。今年もコロナウィルスの影響で、行事や学習活動など様々な変更や制限はありますが、そんな中でも、生徒も先生も今できる事を精一杯頑張ってくれています。

生徒が全員そろう機会が減りましたが、新生児や転入生は2、3年生たちの学習活動や生活の様子を見ながら中学部に徐々に慣れてきています。体育祭では、保護者やお客様に直接応援してもらうことが出来ませんでしたが、29人が跳んだり走ったり、踊ったり手を叩いて応援したり元気で楽しい体育祭になりました。また、5月24日から作業学習が始まり、知的障害学級（肢体不自由E1課程）の3学年の生徒が一緒に勉強することができています。

今年もいろいろな行事や学習活動があります。29人の生徒が力を合わせて取り組み、大きな成果を出してくれるのを楽しみにしています。新たな出会いを大切にともに協力し学び合いながら元気いっぱい笑顔いっぱいの中学部にしていきたいと思っています。

（中学部主事：古賀高宏）

【高等部】

◆個性あふれる魅力的な高等部生◆

今年は17名の新生児を迎え、2年生20名、3年生8名の合計45名で高等部生活をスタートしました。

4月の対面式では自分の好きな食べ物やアニメ、精肉店（！）などを丁寧に発表して自己紹介をしました。1年生はたいへん緊張した表情でしたが、上級生から掲示物のプレゼントをもらって笑顔もこぼれていました。

5月の体育祭は1・2年生にとって初めての体育祭でした。開会式の動画の撮影や看板作りなど、精力的に頑張ったと思います。保護者の参観中止はとて残念だったと思いますが、自分のできることに取り組んだことは自信になったことでしょう。感染症対策で多くの制限がある中、二人の応援団長から「楽しかったです！」と力強い感想を聞き、大きな成長を感じました。

高等部3年間で身につけてほしい力は、生徒個々で大きく違います。卒業後の「豊かな生活」を願って、しっかりと目標を持ち、ゆっくりとですが着実に歩んでいきたいと思っています。1年間、よろしくお願いします。

（高等部主事：森久美子）

【寄宿舎】

★社会性をはぐむために

今年度の寄宿舎は、9名の新入舎生を迎え、中学部生7名、高等部生20名の全27名でスタートしました。今年も新型コロナウイルス対策のため行事や様々な活動に変更や制限はありますが、中学部生から高等部生まで、助け合いながら行事の運営を行っています。夏祭りのスタッフ募集に7名の役員が集まり、舎生会役員と共に今年の夏まつりをどのようにして盛り上げるか検討中です。このように生徒が主体となる活動を通し私たちは、人との豊かなかかわりをもつことができ、楽しみをもって生活をする事ができる。そんな子どもに育ててほしいと願っています。

また、日々の生活の場面で社会自立につながる力や習慣を身につけ、よりスムーズに卒業後の生活につなげるための生活支援を行っています。（寮務主任 佐原光春）

今年度も、伊万里特別支援学校を、どうぞよろしくお願い申し上げます。



〒848-0023 伊万里市大坪町丙1427番地

Eメール imaritokubetsushien@education.saga.lg.jp

TEL 0955-23-8554 FAX 0955-20-1005